

地域連携センター ニュースレター

「テクノトランスファーin かわさき 2015」に工学部建築学科・西村研究室が出展

2015 年 7 月 8 日（水）～10 日（金）の 3 日間、かながわサイエンスパーク（KSP）にて「テクノトランスファー in かわさき 2015」（公益財団法人神奈川産業振興センター、神奈川県、川崎市主催）が開催されました。

当イベントは、メカトロニクス産業を始めとする高度な技術集積地を形成しており、世界的な製品開発拠点として注目を集めている地域である川崎市において、内外の企業の先進的な工業製品やソフトウェアなど、多岐にわたる新技術・新製品の展示・実演を通じて企業製品の P R ・販路の拡大、商取引の促進を図るとともに、地域産業の育成・振興を目的として開催されており、本学は大学や T L O 機関など 24 機関が出展する「産学連携部門」に出展しました。

今年度は、工学部建築学科・西村研究室が出展し、国土交通省建設技術研究開発助成制度より研究助成を受けて開発した「新型免震構造用積層ゴム支承」の研究成果について紹介しました。

また、最終日の 10 日（金）には、技術シーズ提供セミナーにおいて西村教授が「巨大地震に備える免震建築の普及促進を目指す新型積層ゴムの研究開発」と題して講演を行い、立ち見ができるほどの盛況ぶりでした。



開会式で挨拶する黒岩神奈川県知事



本学ブースで説明をする西村教授



多くの聴講者が訪れた講演会場

「かながわ発中高生のためのサイエンスフェア」に工学部都市工学科・白旗研究室が出展

2015 年 7 月 11 日（土）、横浜そごう 9 階の新都市ホールにて、神奈川県主催による「かながわ発中高生のためのサイエンスフェア」が開催され、本学からは工学部都市工学科の白旗研究室が参加しました。本イベントは、中高生に理工系分野への理解を深め、魅力を感じてもらうことを目的として、神奈川県内の 16 大学と関係機関が参加し、会場の新都市ホールの実験・体験コーナーでは、各大学の最先端研究の実演や体験型の実験が行われました。

本学から参加した白旗准教授は、「構造物の共振と免震デバイスによる長周期化」をテーマに、振動や構造物の模型を用いて、免震デバイスと呼ばれる地震対策の仕組みについて実験を行いました。

また、会場を訪れた黒岩祐治神奈川県知事が本学ブースを視察する場面も見られました。



本学ブースで説明する白旗准教授



黒岩神奈川県知事（右から 3 人目）視察の様子

■□■ 問い合わせ先 ■□■
東京都市大学 研究推進部地域連携センター
〒158-8557
東京都世田谷区玉堤 1-28-1
TEL: 03-5707-0104
FAX: 03-5707-2128
E-mail: chiikirenkei@tcu.ac.jp

